

Public Relations

広
報



<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>



今月の表紙 おはなしポケット ~みんなで楽しいおはなしを聞いたよ!~

2月15日は町議会議員選挙の投票日です

平成19年度決算 津別のまちの家計簿

温故知新
「写経」と出会う
旭町 島 義一さん

2009.2
NO.554

選挙権を有しているのは？

20歳以上で、住民登録しており、現に居住している人です

11月9日以前に住民登録し、住んでいる人が対象
今回の選挙で投票ができる人は、投票日当日満20歳以上で、次の要件を満たしている人です。
①平成20年11月9日以前に津別町に住民登録をしている。
②現実に津別町に居住している。
したがって、津別町に住民登録をしても、学生などのように町外に居住している人は、②の要件を満たさないのので、投票することはできません。
平成20年11月10日以降に転入

の届け（住民登録）をした人は、現在津別町に住んでいても、居住期間が不足しているため、選挙権はありません。
投票ができる人は選挙人名簿に登録されますが、その名簿は次の期日に見ること（縦覧）ができます。登録された自分の名前、住所、生年月日などが正しく記載されているかどうかお確かめください。
縦覧期日 2月10日（火）
縦覧場所 選挙管理委員会事務局（役場議事堂1階、町民懇談室）

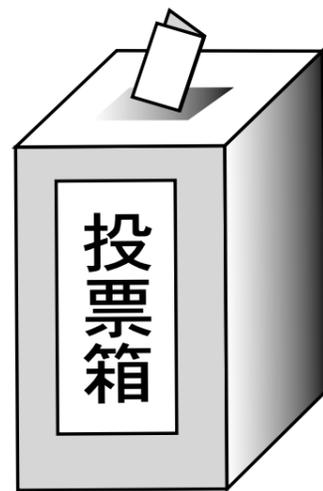
必ず入場券を持って、投票所へお越しください

投票は、2月15日の日曜日です。時間は午前7時から午後6時までです。必ず入場券を持ってお越しください。
投票場所は、入場券に記載しています。
入場券は、投票する人の確認書であり投票用紙交付の際の整理券と

もなります。必ず持参してください。
この入場券は、9日ごろに皆さんに郵送されます。期日が来ても届かなかったり、記載内容に誤りがあるときは、すぐに選挙管理委員会（☎76-2151）にご連絡をお願いします。

2月15日は、津別町議会議員の任期満了に伴う一般選挙の投票日です。町議会は、条例や予算などまちづくりの方針を決める重要な機関で、私たちの生活と密接なつながりを持っています。今回の選挙から議員定数が12人から2人減の10人になります。私たちの代表者を決める大切な町議会議員選挙です。よく見て、よく聞いて、よく考えて、棄権せずに投票しましょう。

2月15日は町議会議員選挙の投票日です



あなたの一票大切に！

その際は、病院の方に申し出てください。

開票は即日

午後7時30分から中央公民館で

開票は、投票日当日の午後7時30分を予定しています。場所は中央公民館講堂です。一般参観人の入場は、午後7時20分のみです。

会場へは受け付けを済ませてからお入りください。申込者が多い場合は、入場を制限することがありますのでご了承ください。静かに参観され、会場の秩序維持にご協力ください。

期日前投票を希望する方は、11日から14日までに選管事務局へ

旅行、レクリエーションなどの事情も認められます

期日前投票は、投票の当日に、仕事や旅行、やむを得ない事情で投票できない人が、事前に投票を済ませておく制度です。手続きも簡単になります。票に旅行やレクリエーションなどを予定されている人は、棄権しないよう事前に

長期出張の人は、告示前の請求が可能です

なお、長期間出張などで町外に滞在している場合などは、不在者投票の請求が告示前でもできます。告示前に請求をし、告示日の翌日（11日）以降に滞在している市町村の選挙管理委員会へ不在者投票をしてください。不在者投票用紙の郵送や返送はすべて郵便でのやり取りとなり日数がかかります。特に町議選挙は選挙期間が短いため、場合によっては投票日まで届かないこともあり得ますので早めに請求をしてください。
また、不在者投票ができる病院などに入院している場合も、その病院内で投票ができます。

告示日 2月10日(火)
投票日 2月15日(日)
投票時間 7:00~18:00
投票所 入場券をご覧ください

選挙に関するお問い合わせは、津別町選挙管理委員会まで
☎76-2151 場所は、議会議事堂1階の町民懇談室です



重度障害の人は、自宅で投票できます

身体に重度の障害があるために投票所へ行くことができない人は、自宅で投票することができます。この制度も不在者投票制度の一つです。投票は、選挙管理委員会にその旨の請求をし、郵送によって投票用紙をもらい、郵送によって記載した投票用紙を送ることになります。投票まで時間がかかりますので、早めに請求してください。

なお、この投票は「郵便等投票証明書」の交付を受けていなければ、することができません。この制度を利用する人は、まず証明書交付の手続きをしてください。すでに交付を受けている人は、有効期限（7年間）が過ぎていないかどうか、お確かめください。

この制度を利用できる人

- 【身体障害者手帳をお持ちの方】
 - 両下肢などの障害で、1級または2級の人
 - 内臓機能障害で、1級または3級の人
 - 免疫障害で、1級から3級までの人
- 【戦傷病者手帳をお持ちの方】
 - 両下肢などの障害で、特別項症から第2項症までの人
 - 内臓機能の障害で、特別項症から第3項症までの人
- 【介護保険の要介護状態区分が、要介護5の方】

平成19年度決算

津別のまちの家計簿

一般会計は、3億280万円を基金から取り崩しました

地方交付税
地方公共団体間の財源不均衡是正を目的に、国税の所得税、法人税、消費税、酒税など、それぞれ一定割合の額を国から交付されるお金。

国庫・道支出金
町で行う特定の事業に対して、国または道から交付される負担金、委託金、補助金。

町税
町民税や固定資産税、軽自動車税、特別土地保有税、たばこ税、入湯税など。

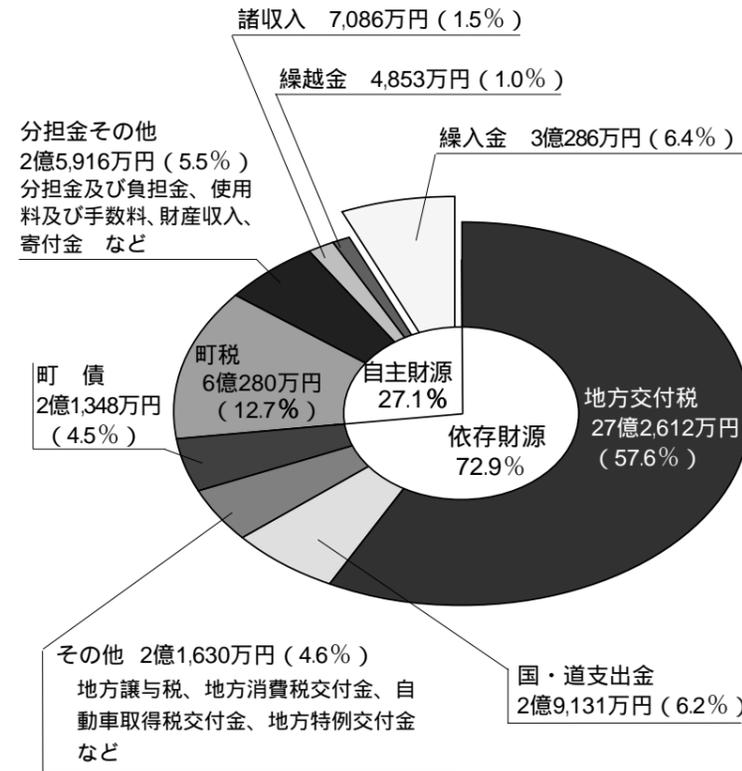
町債
町が事業を行うために借入れたお金のほか、地方交付税減による財源不足を補うため措置された臨時財政対策債が含まれる。

繰入金
目的の事業を行うための財源及び財源不足を補う目的で、町の貯金である基金を取り崩して一般会計に入れたお金。

歳入（一般会計）

総額 47億3,142万円

町民一人あたりの町税の納付額 99,505円
(平成20年3月31日現在 人口6,058人)



平成19年度の歳入決算額は、47億3,142万円となり、前年比20.8%の大幅な減となりました。これは道支出金の林業構造改善事業と地域政策補助事業（麦乾燥調整施設）の完了に伴うものです。歳入の内訳（4ページグラフ）を見ると、国から交付される地方交付税が最も大きな財源になっており、19年度決算では27億2,612万円で歳入全体の57.6%を占めています。これに国・道支出金（6.2%）や地方譲与税などの交付金、交付税減による財源不足を補うために措置された臨時財政対策債を含む町税を合わせた依存財源は72.9%になります。残りの27.1%は、皆さんが納付する町税などの自主財源です。町税の総額は6億2,800円で、一人当たり9万9,505円の納付額になります。一般会計の決算では、基金から3億2,860万円を取り崩し、歳入の不足分を補いました。

一般会計・歳入

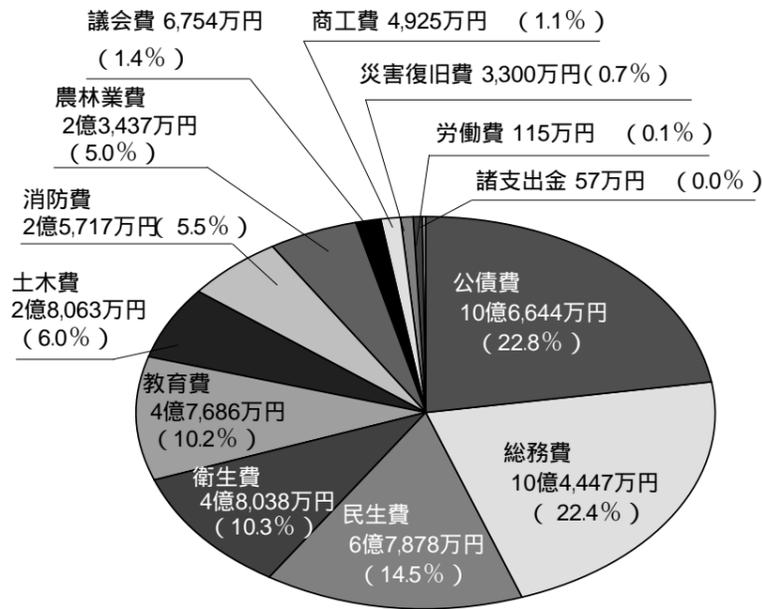
一般会計・歳出

皆さんが納める税金や国・道からの交付金などは、私たちの生活をより良くするためにさまざまな形で使われています。これらが、町の行政サービスとしてどのように使われたのか、一般会計を中心に平成19年度決算の執行状況についてお知らせします。

歳出（一般会計）

総額 46億7,061万円

町民一人あたりの経費 770,982円
(平成20年3月31日現在 人口6,058人)



特別会計決算額

会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	9億6,617万円	9億6,027万円
老人保健事業	10億5,654万円	10億6,309万円
介護保険事業	4億1,993万円	4億1,826万円
介護サービス事業	2億7,817万円	2億7,553万円
下水道事業	5億6,216万円	5億5,841万円
簡易水道事業	1億2,293万円	1億2,278万円

このほか特別会計として、国民健康保険事業・老人保健事業・介護保険事業・介護サービス事業・下水道事業・簡易水道事業の6事業会計と企業会計である下水道事業会計があり、それぞれ私たちの生活と密接に関わっています。（表1・2参照）

各会計とも健全財政に努めていますが、一般会計から不足分を補うため、下水道事業を除く6事業会計に、4億7,783万円が繰り出されています。

特別・企業会計

歳入の内訳（4ページグラフ）を見ると、国から交付される地方交付税が最も大きな財源になっており、19年度決算では27億2,612万円で歳入全体の57.6%を占めています。これに国・道支出金（6.2%）や地方譲与税などの交付金、交付税減による財源不足を補うために措置された臨時財政対策債を含む町税を合わせた依存財源は72.9%になります。残りの27.1%は、皆さんが納付する町税などの自主財源です。町税の総額は6億2,800円で、一人当たり9万9,505円の納付額になります。一般会計の決算では、基金から3億2,860万円を取り崩し、歳入の不足分を補いました。

歳入の内訳（4ページグラフ）を見ると、国から交付される地方交付税が最も大きな財源になっており、19年度決算では27億2,612万円で歳入全体の57.6%を占めています。これに国・道支出金（6.2%）や地方譲与税などの交付金、交付税減による財源不足を補うために措置された臨時財政対策債を含む町税を合わせた依存財源は72.9%になります。残りの27.1%は、皆さんが納付する町税などの自主財源です。町税の総額は6億2,800円で、一人当たり9万9,505円の納付額になります。一般会計の決算では、基金から3億2,860万円を取り崩し、歳入の不足分を補いました。

公債費
一部事業債の償還完了により前年対比34%の減。

総務費
森の健康館整備事業で増。公共施設等整備基金の減などにより前年対比19%の増。

民生費
前年対比0.1%の増。

衛生費
下水道事業特別会計繰出金等の減。ごみ処理関連経費などで前年対比52%の減。

教育費
小学校のコンピューター整備事業や生活改善センター施設整備などで前年対比9.5%の増。

土木費
給与費や特定道路整備事業などの減により前年対比18.1%の減。

消防費
前年対比16%の減。

農林業費
農業費は、前年対比48.6%の減。林業費は、林業構造改善事業の減などにより前年対比88.5%の大幅減。

災害復旧費
大きな災害の発生がなかったことから前年対比49.4%の減。

表2 企業会計決算額

会計	収益的収支	
	収入	支出
水道事業	1億4,071万円	1億4,358万円
	資本的収支	
	収入	支出
	1億2,470万円	1億8,169万円

一般会計性質別内訳

表3 単位：万円

	19年度決算額	18年度決算額	増減率
人件費	103,299	104,382	△1.0%
物件費	63,115	62,512	1.0%
維持補修費	4,310	4,314	△0.1%
扶助費	21,515	20,382	5.6%
補助費	50,105	52,718	△5.0%
公債費	106,644	110,364	△3.4%
積立金	39,084	44,046	△11.3%
貸付金	300	300	0.0%
繰出金	48,144	49,987	△3.7%
投資的経費	30,545	143,350	△78.7%
合計	467,061	592,355	△21.2%



成人の誓いを述べる稲部さんと横山さん

20歳を祝う成人式が開かれる 49人が大人の仲間入り

1月11日、中央公民館で20歳を祝う成人式が開かれ、49人の新成人が大人の仲間入りをしました。

布瀬勝明教育委員長が「新しい心構えを持ち、常に自己研鑽に努めてください」と式辞を述べた後、佐藤多一町長から「困難にあたって志をしっかりとって歩んでください」と祝辞が送られました。

続いて、新成人を代表して土田隼人さんが町民憲章を朗唱、稲部恵太さんと横山加奈江さんが成人の誓いを述べ、高橋のぞみさんが町長から記念品を受け取りました。その後、北見室内管弦楽団によるお祝いの演奏会や津別町のビデオ上映が行われました。

成人式終了後は、友人たちと写真を撮りあったり近況を報告したりと、久しぶりの再会を楽しんでいました。



ボランティア力によるまちづくり 「ほっかいどう学」出前講座を開講

1月17日、中央公民館で「道民カレッジ」ほっかいどう学「出前講座」が開かれました。講師の北海道まちづくりボランティア会議代表の藤井英規氏は、高時代からのボランティア活動の体験談を披露し「ボランティアは自発的な思いが大切」、「町のすばらしさは人口が多く物が豊かというわけではない。小さなことでもできることをやってみようとする実践力のある人が多いかで決まる」と述べていました。講演後のパネルディスカッションでは、近隣市町の町内会やサークルの取り組みが紹介され、訪れた方々は講座を通して地域社会との関わり方などを学んでいました。



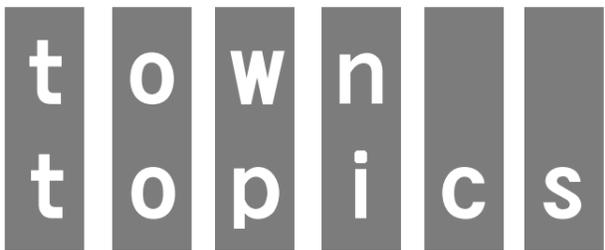
全道リコーダーコンテストで金賞 活汲小中学校7年連続全国大会出場

1月9日に札幌市で開催された全道リコーダーコンテストで活汲小中学校（柄澤健一校長）が、小学校と中学校合奏の部でそれぞれ金賞に輝き、7年連続の全国大会出場を決めました。

1月15日、全道大会の報告のため町長室を訪れた細川萌さん（小学6年）は「小学校最後の大会なので楽しんで吹いてきたい」、細川夏歩さん（中学3年）は「昨年、中学校は花村賞をいただいているので、快いプレッシャーを感じながら満足できる演奏をしてきたい」と全国大会へ向けての意欲を語ってくれました。佐藤町長からは「緊張せず今年も頑張ってください」と激励の言葉が送られました。



町長からは「緊張せず今年も頑張ってください」と激励の言葉が送られました。



まちのわだい

図書室の充実に活用 カレンダー展示即売会が開かれる

毎年恒例となっているボランティア団体「かわら版福祉基金」（大東勲代表）によるカレンダー展示即売会が1月11日、中央公民館で開催されました。

今年も町内事業所や各家庭から、2千部ちかいカレンダーが寄せられ、訪れた人たちは一枚ずつめくりながら好みのカレンダーを選んでいました。この日は、前日からの大雪の影響もあり例年に比べて訪れた人は少なめで、14日には会場を移して再度開かれました。



即売会での収益金は公民館図書室の充実に活用されることになり、ご協力ありがとうございます。

紙いっばいにのびのびと 第42回新春席書大会



1月6日、中央公民館で第42回新春初席書大会（津別町商工会青年部主催）が行われました。

この大会は、書くことの素晴らしさと楽しさを子どもたちに体験してもらつことを目的としていて、今年には61人の小中学生が参加。「明るい年」や「のびる力」など学年ごとに設けられた課題に力強く筆を走らせていました。

1月18日には商工会館で表彰式が行われ、金・銀・銅賞の44人、特別賞の17人が表彰状を受け取りました。柄澤健一委員長（活汲小中学校長）は、書に取り組むことで感性を磨き、価値観を高めてくださいと話しました。

12月24日、津別高校で海外研修報告会が行われ、研修に参加した4人の生徒がニュージーランドでの生活や感想などを全校生徒の前で発表しました。

最初に、10日間のニュージーランドでの研修を2分にまとめたビデオを鑑賞した後、4人はスライドを使いながら、ホームステイ先や滞在中に通ったタラロア高校の授業体験について発表を行いました。その後、「教育の違い」や「ニュージーランドについて」、「日本との違いについて」、「食文化の違いについて」など、それぞれの研修テーマについて発表を行いました。



肌で感じた異国の文化
津別高校生の海外研修報告会

9年目を迎えたスキー講習会 元・五輪選手川端絵美さんが指導

1月10日から12日の3日間、元五輪選手川端絵美さんによるスキー講習会が共和町民スキー場で行われました。1月10日にはジュニアスキー講習会、11日には親子スキー教室、12日には昨年から行われている特別支援学級の子どもたちを対象にスキーの楽しさを伝えました。

川端さんは「スキーを通して子どもたちの成長を見てうれしいし、年上の人たちの接し方を学ぶなど、社会教育の場だと思っています」と話してくれました。昼食にはボランティアによるカレーが用意されおいしく食べました。



力を込めて「べったん」 自然文化教室で餅つき



自然文化教室に参加している児童が1月9日、中央公民館で餅つきを行いました。例年鏡開きにあわせて実施しているもので、この日は小学2年生から6年生まで12人が高校生ボランティア3人の手を借りて実施。持ちやすいように小さな杵も用意され、子どもたちは2升ずつに分けて蒸された餅米を交代で力いっぱい叩いていました。また、スケート教室の親子も飛び入りで参加。できたての餅はその場で、しょう油、あん、きな粉などをまぶし、みんなが美味しく味わっていました。

第5次津別町総合計画策定審議会

～ 9つの部会別調査検討本格化～

安全運転呼び掛ける 津別高校生が絵馬を配る

12月19日、津別高校生が交通安全の標語が書かれた絵馬80枚をドライバ―に手渡し交通安全を呼びかけました。

この呼びかけは10年以上続いていて、参加した12人の生徒たちは「気をつけて車の陰にまた車」や「実際ね事故0(ゼロ)なんてあたりまえ」、「別にいいそんな思いがつかなく事故」と書かれた絵馬7種類を配り、交差ルールの重要性をアピールしてしました。風紀委員長の曾根康順さんは、「絵馬を見て交通安全に少しでも気をつけてくれたらうれしいです」と話してくれました。



たのしい仲間と鍋を食べる 一人暮らしの集いに72人参加



1月14日、町民会館で「一人暮らしお年寄りの集い」(社会福祉協議会主催)が行われ、町内の65歳以上のお年寄り72人が参加し、おいしい料理を食べたりゲームで楽しい時間を過ごしました。

この日は寄せ鍋、赤飯、茶碗蒸しなどボランテイアによる豪華なメニューが用意され、みんなで食べる。馳走に会話も弾み笑顔が溢れていました。昼食後には景品がかかったビンゴゲームや脳を使ったクイズ問題に挑戦しました。参加者は「いろんな人とたくさん話ができとても楽しいです。いつもあればいいと思います」と話してくれました。

今年も子どもたちの冬休みを利用したスキーとスケートの教室が開催され、寒さの厳しい冬のスポーツに挑戦しました。

1月7日から9日の3日間、少年少女スケート教室と初心者・親子スキー教室、スキー連盟主催が行われました。町民スケートリンクで開催されたスケート教室には9人の小学生が参加。体育指導員と一緒にパイプ椅子を押しながら滑る感覚を身につける練習などを行いました。

また、共和町民スキー場で行われた親子スキー教室には約20人の園児や低学年、お父さん、お母さんが一緒に練習を行いました。



寒い冬のスポーツに挑戦! スキー・スケート教室開催

日々の運動が『元気』を創る シルバースポーツスクール開催



元気に体が動くうちから運動を日常化させ体力を維持し、健康的な生活を送ることを目的に、60歳以上の方を対象にしたシルバースポーツ教室が12月から3月まで行われています。この教室は、自宅でも気軽に出来る筋力トレーニングや脳のトレーニングなどが学べるとあって、毎週15人ほどの方が心地よい汗を流しています。

1月16日の教室では、体育指導員と一緒に座りながら指先を動かしたり手足を伸ばす運動などを行いました。

参加している人からは「終わってから次の教室まで無理なく続けられるのが楽しみです」と話してくれました。

行つ。

住民活動部会 『住民ふれあいコミュニティ』構想を優先重点課題に設定。

趣旨は、世代間交流や生きがいを求める社会参加。自治会・老人クラブ・障害者などを含めた活動の構築に向け、現状を検分しながら検討。今後は、老人クラブの会館利用エリヤマップの作成、サークル等の公共施設利用実態調査、自治会老人クラブの活動実態調査を行う。

産業部会 『産業の付加価値創造』を優先重点課題に設定。今回は、農業と林業について、現状の問題点や課題について協議。次回は、建設業・商業・観光等の現状把握を深め、課題解決の検討を進め、取り組むべき方向を見出す。

環境・みどり部会 『自然活用行動計画』に優先重点課題を設定。先に行われた部会討議結果一覧から環境部会に該当するものを抜粋し、自然を柱として「環境」「産業」「人づくり」「情報」に係るものうち、「今すぐに活用できるもの」「時間をかけて活用していくもの」「活用することを目標とするべきもの」に区分した。次回は上記の分類を基にして整理検討する。また、今回の討議に先立ち独自の協議を行う。

活況方面部会 地域の現状と問題点や地域資源をどのように活用するかについて討議。その結果、『活況グリーン・ツーリズム構想(仮称)』を優先重点課題に設定。今後は、これまでの協議結

1月21日に第7回津別町総合計画策定審議会が開催され、専門分野毎の優先重点課題について、前回に引き続き9つの部会で調査検討の討議が行なわれました。

開会にあたり原田策定審議会議長より、「先の審議会において、5つのまちづくりのテーマと『田圃工房のまち・つべつ』をキー・コンセプトとした3つの戦略プロジェクトが承認されました。

物や自然どころか人をも粗末に扱われる昨今の殺伐とする社会環境の中にあつて、私たち自身が手の届くこの町だけでも、人を思いやり、物を大切に、そして自然と共生するまちづくりと人づくりを進めていきたい。

3月まで審議会に与えられた課題は、専門分野別の優先重点課題の解決に向けた調査検討。並行して行政側では、先の部会討議結果を受けて基本構想づくりと3つの戦略プロジェクトに関する各団体や企業との折衝を始め条件整備や課題整理が行われます。今後審議会としても精力的な調査検討作業を進めて参りたい。皆さんのご協力をお願いしたい」と挨拶がありました。

事務局から、戦略プロジェクトに関するし、4月以降においては、3月までの行政側の調査検討結果をベースに、策定審議会に10人程度からなる戦略プロジェクトに関する新たな部会を3つ設置し、実現可能なプロジェクトに仕上

げていくこととし、詳細は、今月末の第6回策定委員会で作業の内容を煮詰めて行きます。特に新たな3つの部会の設置については、3月以降に開催される策定審議会にご提案し、策定審議会としての進め方を決めていきたい」と考え方の報告がありました。

【部会の優先重点課題の調査討議概要】

生活部会 『生活館構想』を優先重点課題に設定。その具体化に向け現状の問題点や課題を協議。趣旨は、子供からお年寄りまでが利用できる総合施設とすること。課題は運営母体。利用度を高めるため交通手段の確保も欠かさない。次回まで先進地の事例を研究し構想を仕上げていく。

保健福祉部会 『子どもを大切に育てるまちづくりプラン』を優先重点課題に設定。今回は、これまで町が取り組んでいる事業を検証し、更に拡充する事業や新たに取り組む事業について協議。次回はもう一つの優先重点課題『健康づくり企画』を検討することを確認。

教育部会 『津別を学び楽しむ人づくり自然・産業・文化と触れ合う教育の充実』を最優先重点課題に設定。今回は、農業や林業など津別の環境を生かした「ふるさと教育としての体験学習」と、特別支援教育や少人数学級など個人を伸ばす「子ども一人ひとりを大切にする教育」の現状や課題について検討。次回は、社会教育について検討を

【今回の第8回策定審議会について】
日時 平成21年2月24日(火曜日)
18時30分
場所 津別町中央公民館
公開開催の策定審議会です。町民皆様の多数のご来場をお待ちしています。なお、これらの計画づくりの概要などについては、引き続き広報や町のホームページに掲載していくこととしています。

祝成人！空いた時間をうまく使える大人に！

古澤 真那美 さん



ふるさわ まなみ さん / 昭和63年8月生まれ
食鮮館やなせに勤務 / 本町

青春

くる-ずあつぷ

今年から大人の一員となった古澤真那美さんにお話を伺いました。成人式の感想を伺うと「楽しかったです。『あの人誰だっけ』『みたいなことを友達と話して盛り上がりました』(笑) そんな古澤さんは津別高校卒業後、食鮮館やなせに就職。「家から通える距離で就職を考えていました」と話します。現在は揚げ物やお弁当、寿司など惣菜作りを任せられています。

趣味はマンガと音楽鑑賞で、特に『シド』というバンドがお気に入りです。仕事の休みは平日に休みになることが多く、友人と遊べる機会が少ないそうですが、予定が合えば中学・高校時代の友人と一緒に食事に出かけたり、札幌までアーティストのコンサートに出かけたりするそうです。古澤さんの夢を伺うと「今は仕事で精一杯なので、余裕ができたらかみつけたいです。でも、お金が貯まったら車を買って好きな音楽を楽しみたいです」と話していただきました。

温故知新

【370】

「写経」と出会う

島 義一 さん



しま よしかず さん / 昭和12年1月生まれ / 妻ユキエさんと2人暮らし / 72歳 / 旭町在住

平成13年春、半世紀余りにわたる学び舎の歴史を閉じた日、卒業生と共に学校を去ることとなった島さん。縁あって昭和48年から町立本岐中学校の用務員として働き、定年後も臨時職員として勤めた。朝は職員室の掃除から始まり、校内の修繕や庭木の剪定など維持管理を一手にやっていた。東京の高校で園芸を学び、学校で働く以前は花の商売をやっていた。その腕が活かされた。魔軍同然の車で金網ネットを引き、グランド整備もした。勤めた当時はまだルンペンストープで、寒い季節は石炭が

らの処理と翌朝の準備が日課で天枰棒を使って一度に2つのストープを2階の教室へ運んでいた。「手伝います」と生徒からの声が嬉しく、いろいろあったけれど、先生や生徒に良くしてもらい、楽しく仕事できた。恵まれていたね」と語る言葉から当時の仕事ぶりがうかがえる。閉校まで勤めた28年余り、その生活の大半を校内で送りながら働き、多感な年頃の生徒たちの成長や巣立ちを見送り、学校を陰から守り続けてきた。退職後にやってみようと思っていたのが「写経」。偶然、お寺の住職にも勧められ、見よつ見まねで書き始めた。とても根気のいる作業で、毎日5行、多い日も10行ほどしか書き進めない。ゆっくりと静かな時間の中で集中し、一文字ずつ丁寧に書き写すことで漢字の意味を知り、感謝の心で気持ちも落ち着かせることができるという。しかし、いったい何文字あるのか、気の遠くなる作業だ。これまで5巻を書き終え、筆を何本も駄目にした。少しでも上手く書ければと書道連盟にも席を置き、定期的に作品を出す。私なんかもまだまだ。全然ダメだね」と終始控えめ。傍らの妻ユキエさんに向かって「出来上がったらいつ死んでもいいや」と冗談を飛ばしながら残り3巻の写経に臨む島さんの表情はとても穏やかに見えた。

健康いきいき

おいしく、楽しく、安全に食べよう！

誤嚥を防いで健康に

高齢になると、自分の歯が少なくなったり、唾液の分泌が減って食べにくくなったり、物を飲み込む力が衰えたりします。近頃、食事中にむせる、食後に咳き込むことはありませんか。このように、本来なら食道に入るはずの食べ物や唾液が気管に入りやすくなることを「誤嚥」といいます。これらが原因で、肺炎になることも決してまれではありません。

① 肩の運動
両肩をすぼめるようにして上げすつと力を抜く。

② 口の運動
唇を突き出し「ウ」と発音する。横に唇を引いて「イ」と発音する。

③ 舌の運動
舌を出したり引込める。舌を左右に動かして左右の唇の角をなめる。

④ 発音の練習
「バババ」「タタタ」「カカカ」を繰り返して発音する

⑤ 唾液腺マッサージ
唾液腺でマッサージして唾液の分泌を促します。

耳下腺への刺激
舌下腺への刺激
顎下腺への刺激
舌下腺への刺激

お問い合わせ 津別町地域包括支援センター(役場内) ☎ 76-2158

暮らしを支える 税

所得税確定申告はお早めに

平成20年分所得税の確定申告の受付は2月16日(月)から3月16日(月)までです。期限近くになりますと、混雑し長時間お待ちいただくこととなりますので、申告書はお早めに提出してください。

また、所得税の還付申告については、2月16日前でも税務担当で申告を受け付けています。それ以降の申告受付は次のとおりです。

受付場所 林業研修会館2階集会所
受付時間 午前9時～11時まで
午後1時～5時まで
なお、3月2日から6日まででは夜7時まで受付を延長いたします。

【申告に必要なもの】
税務署から確定申告書が送付されている方は、その申告書用紙、源泉徴収票(給与・公的年金)、印鑑、国民年金控除証明書、国保税・介護保険料の領収書、生命保険・地震保険・旧長期損害保険控除証明書、医療費控除をされる方は領収書を個人ごとに分け、病院等ごとの合計額を計算してきてください。なお、所得税の還付金が出る方は申告者名義の銀行口座を控えてください。

また、国税庁のホームページの確定申告書作成コーナーでも申告書の作成ができます。
アドレスは <http://www.nta.go.jp>

お問い合わせ ☎ 76-2151 税務担当 (220・221) 収納担当 (218)

お知らせ

information

インフォメーション

まちづくりに対する疑問、ご意見をお寄せください。

地域振興グループ ☎ 76 - 2151
FAX 76 - 2976

「特別慰労品」贈呈の受付の終了について

平和祈念事業特別基金では、いまだ請求されていない引揚者、恩給欠格者、戦後強制抑留者の「ご本人」に、『特別慰労品』を贈呈しています（ご遺族の方は対象とはなりません）。「引揚者」は、終戦の日まで引き続き1年以上外地で生活して戦後引き揚げてきた家族全員が対象です。請求書等は、役場 保健福

児童扶養手当の申請を随時受け付けています

次に該当する世帯は児童扶養手当を請求できます。

- 児童扶養手当
- 母子家庭またはそれと同等の世帯
- 子どもの父が一定の障がいをもつ世帯
- 子どもを親以外の者が養育している世帯
- 18才未満（重度障害児は20才未満）の子どもを養育している人特別児童扶養手当
- 20才未満の一定の障がいを持つ子どもを養育している場合不明な点や手続きについてはお気軽にご相談ください。

問い合わせ先 役場福祉担当 ☎ 76 2151 内線234

平成21年度調停等受付相談会日程（美幌町）

裁判所では、金銭トラブルや土地・建物に関するトラブル、また、家庭問題や相続の問題など様々な相談を受け付けています。相談は無料で、秘密は堅く守られますので、お気軽にご相談ください。

社課福祉担当窓口にあります。請求期限は平成21年3月31日までです。未請求の方は、早急に申請してください。資格要件等の質問は、次の独立行政法人平和祈念事業特別基金までお願いします。

☎ 0120-234-933
(平日 9時15分～17時15分 土日祝日は休みです)

銃刀法が改正されました

平成21年1月5日、銃刀法改正により刃渡り5・5センチ以上の剣の所持が禁止されました。剣とは両側に刃がついた刃物のことで、1月5日以降にこれに該当する剣を手に入れると罪に問われます。しかし、それ以前から所持していた方は平成21年7月4日までに警察や輸送業者、廃棄業者に依頼してください。詳しくは警察庁ホームページをご覧ください。

警察庁ホームページ <http://www.npa.go.jp/>

実施月日		
2月17日(火)	4月21日(火)	6月16日(火)
8月18日(火)	10月20日(火)	12月15日(火)

担当者は北見簡易裁判所裁判所書記官

場所 美幌町東3条北2丁目1番地
美幌町保健福祉総合センターしゃきつとプラザ (☎ 0152-73-1111 内線346)

時間 電話予約により指定された午後1時から午後3時までの時間

農林漁業金融公庫から日本政策金融公庫への統合について

農林業金融公庫は、昨年10月1日に国民生活金融公庫・中小企業金融公庫との統合により、日本政策金融公庫農林水産事業として新たなスタートを切りました。日本政策金融公庫農林水産事業は、引き続き、農林漁業や食品産業を営む方に、長期・低利資金を融資する政策金融機関として、経営改善を支援します。融資の相談は身近のJA・銀行・信金でも受けられます。



問い合わせ先
日本政策金融公庫 北見支店 農林水産事業
(土・日・祝日を除く) 9時00分から17時00分まで
☎ 0120-926474 (フリーダイヤル)
ホームページアドレス <http://www.afc.go.jp/>

交通事故の援護制度について

自動車事故対策機構（N.A.S.V.A）では、自動車事故被害者のための経済的援助として、重度後遺障害者に対する介護料の支給、交通遺児等に対する育成資金の貸付業務を行っています。対象となる方は次の通りです。

- 交通遺児等育成資金貸付（無利子）
- 自動車事故により保護者の方が亡くなったたり、重い後遺障害を残すこととなった家族の子ども（0歳から中学卒業まで）
- 重度後遺障害者介護料支給
- 自動車事故により、脳、脊髄、または胸腹部臓器に損傷を受け、常時または随時の介護を必要とする方で一定の要件に該当する方

問い合わせ先
独立行政法人自動車事故対策機構 旭川支所
☎ 0166-40-0111



警察庁ホームページ <http://www.npa.go.jp/>

予約・問い合わせ先
北見簡易裁判所 ☎ 0157-24-8431 (内線211)
(予約の場合は1週間前までにご連絡下さい)

「つくつくオホーツク」携帯ストラップが当たる！クイズdeプレゼント

問題： の中に入る文字は何でしょうか？
三つの顔は上から「天力・地力・力」の「オホーツク力」を表しています。
ヒント：客を乗せて車夫が引く二輪車を何と言いますか？

「つくつくオホーツク」の携帯ストラップを抽選で20名様にプレゼント（当選は発送をもって変えさせていただきます）

応募先 〒093-8585 網走支庁地域政策課（オホーツクAI推進協議会事務局）「クイズdeプレゼント」係
応募方法 ハガキにクイズの答え、氏名、年齢、住所、電話番号を記入の上、投函ください。
応募期限 平成21年3月16日（月）必着（応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません）
問い合わせ先 網走支庁地域政策課 ☎ 0152-41-0620



津別高等学校公開講座のご案内

パソコンによる簡単なマウス操作や文字入力ができる、Word、Excelの基本知識をお持ちの方を対象にしたパソコン講座を開催します。

日時 2月13日(金)16日(月)18日(水)
午後6時30分～午後8時30分

場所 津別高等学校 3階情報処理室

受講料 無料

内容 ハガキの宛名印刷

募集定員 20人

申し込み締切 2月6日(金)まで
電話かFAXで申し込み下さい。

申し込み・問い合わせ先
津別高等学校 ☎ 76-2808
FAX 76-2662



津別町健康づくり講演会 子どもの成長を促す遊び

～子どもの成長に合わせた遊びを体験しよう～

子どもは遊びを通して心も体も成長すると言われています。今回、子どもの成長に合わせた遊びの紹介やおもちゃの体験などを企画しました。ご家族での来場をお待ちしています。

日時 2月17日(火) 10:00～11:30

場所 中央公民館 2階研修室

内容 おもちゃの展示と体験コーナー、わらべ歌、絵本の読み聞かせ、育児・栄養相談

講師 百瀬孝幸 保育士
山田ゆかり 保育士

申込期日 2月9日(月)まで
当日参加も可能

申し込み・問い合わせ先
役場保健福祉課健康推進担当
☎ 76-2151(内線332・232)



思い込みが事故を呼ぶ

今年例年になく、昨年末からの大雪で、市街地も雪山により見通しが大変悪くなっています。

こんなときは、交差点での出会い頭の衝突事故、あるいは、歩行者が雪山から飛び出し、車と衝突する事故が多く発生します。

それは、運転者も歩行者も「自分からは相手が見えているのだから、相手も自分を確認し、止まってくれるだろう」という思い込みによるものが、事故の大きな発生原因となっています。

運転者は、急な飛び出し等の危険な状況にも対応できるように、無理のないスピードでの走行を心がけてください。歩行者は、車から見えない状況である事を認識し、道路を横断するときは多少遠回りでも、信号機のある所での横断を心がけ、思い込みによる事故をなくしましょう。

住民活動グループ ☎ 76-2151

年金三二知識

問い合わせ 戸籍・年金担当
☎ 76 - 2151内線 222

国民年金の遺族基礎年金

今月号は、遺族基礎年金についてお話しします。

この年金は、国民年金の加入者などが亡くなったとき、その人に生計を維持されていた「子がいる妻」または「子」に支給されます。子とは18歳になって最初の3月31日までの子ども（1級・2級の障害がある場合は20歳まで）を指します。

たとえ生計が維持されていた妻であっても、子がいなければ受けられません。また、夫の死亡月の前々月までの年金加入期間のうち保険料未納期間が3分の1以上ある場合も該当しません。（平成28年3月31日までは、死亡月の前々月までの1年間に未納がないことが条件です。）ふだんからの保険料納付が重要です。

金額は「子が一人いる妻」で年額102万円。18歳未満の子では、一人の場合79万2,100円です。（平成20年度の年金額）

緑永福祉寮の入寮者と寡婦住宅の入居者を募集しています

施設名	入寮・入居資格	使用料	入寮・入居時期
緑永福祉寮（緑町）	本町に住所を有する65歳以上で健康な方	夏期 36,000円 冬期 43,900円	随時
寡婦住宅（緑町）	本町に住所を有する45歳以上65歳未満の寡婦の方	月額 6,300円	随時

福祉寮の申し込みの際は、詳細について聞き取りを行います。

申込期日 平成21年2月18日（水）
定員に満たない場合は、以後随時受け付けいたします。

申し込み・問い合わせ先
役場 介護福祉グループ福祉担当 ☎76-2151（内線299）

クリーンセンターのダイオキシン類測定結果 ゴミの減量と分別にご協力を

区分	ばいじん濃度 g/Nm ³	ダイオキシン濃度 ng-TEQ/m ³ N
基準値	0.250	10.0
2号炉	0.11	4.0
3号炉	0.14	3.9
測定日	平成20年10月	平成20年10月

問い合わせ先 役場環境衛生担当 ☎76-2151内線215

噴火警戒レベルを 発表します

気象台では災害軽減のため、火山ごとに噴火警報及び噴火予報の発表を行っています。雌阿寒岳においても、噴火警戒レベルを導入して想定される活動状況や避難対応などを発表します。1月22日現在、「レベル2（火山周辺規制）」となっています。

予報警報	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民及び登山者・入山者等への対応
噴火警報	居住地域及び側	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫した状態	危険な居住地域からの避難等が必要
		レベル4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）	警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者等の避難等が必要
火山周辺警報	火口から居住地域の近く	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生が予想される	住民は通常の生活。（火山活動に注意）状況に応じて災害時要援護者等の避難準備 登山・入山等立入規制
	火口周辺	レベル2 (火山周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生が予想される	住民は通常の生活（今後の火山活動に注意）火口周辺への立入規制等
噴火予報	火口内等	レベル1 (平常)	火山活動は静穏（平常） 火山活動の状況によって、火口内で火山灰の噴出が見られる	状況に応じて火口内及び近傍への立入規制等

問い合わせ先 網走地方気象台防災業務課 ☎0152-43-4349

職場でのトラブルでお困りのみなさまへ ～総合労働相談コーナーがお手伝いします～

職場でのトラブル（解雇、配置転換、賃下げ、いじめなど）でお困りではありませんか。

北海道労働局の各総合労働相談コーナーでは、こうした労働相談に応じて各種情報を提供するとともに、無料・簡易・迅速な紛争解決システムとして、「あっせん」などのサービスを用意しています。

まずは、お近くの「総合労働相談コーナー」にお気軽にご相談ください。

相談時間 午前9時から午後4時30分
（土日祝日、年末年始を除きます）
問い合わせ先 北見総合労働相談コーナー
北見労働基準監督署 ☎0157-23-7406



映画「審理」(酒井法子主演) 無料上映会のお知らせ

5月21日、いよいよ裁判員制度が始まります。裁判官もあなたをパートナーとして迎えます。あなたが参加する裁判員制度。分かりやすくなった刑事裁判の姿をご覧ください。

日時 2月21日（土）午後1時～午後3時
会場 ワーナー・マイカル・シネマズ北見
（ポスフル北見 4階）

入場料 無料
申し込み・問い合わせ先 ☎0157-24-8431
（釧路地裁北見支部庶務課）

落雪事故、屋根の除雪に伴う転落事故の 防止について

毎年積雪時期になると、屋根からの落雪による事故や屋根の雪下ろしに伴う転落事故が発生しています。

屋根からの落雪が予想される場所には、立ち入らない・立ち入らせないようガードロープによる囲い等をご検討ください。

屋根の雪下ろしを行う際には、荒天時には実施しない、命綱を確実に付ける、出来るだけ1人では行わないといった点に注意願います。



問い合わせ先 美幌警察署 ☎72-0110

平成21年度 北海道消費生活モニターを募集します

募集人員 1名（応募者多数の場合は選考）
任期 平成21年4月1日から1年間
対象者 ・津別町に居住する20歳以上の方
・日常生活のための商品及びサービスの購入を継続して行っている方
・研修会や地域協議会に出席できる方
仕事内容 ・生活必需品の価格及び出回り状況の月例調査を行う
・商品及びサービスの表示などについて調査（年6回程度）を行う
・アンケート（年1回程度）に回答する
・その他必要に応じ意見書等を提出する
謝礼金 月額 2,000円（予定額です）
申込期限 2月20日（金）まで

【問い合わせ先】
役場産業課商工観光担当 ☎76-2151内線315

北海道電力からのお知らせ

停電地域のお問い合わせ（フリーダイヤル）
☎0120-245-121

- ・音声メッセージにより、現在停電中の地域をご確認いただけます。
- ・停電発生から音声メッセージによるお知らせまでには、若干の時間を要する場合がありますので、ご了承ください。
- ・通信システムの緊急メンテナンスなどにより、一時的に停電情報の更新ができなくなる場合がありますので、ご了承ください。

ちびっこ探検学校ヨロン島の 参加者を募集しています！

内容 海水浴、さとうきび刈りと絞り体験、いかだ作り、いかだこぎ、ハーレー船大会など南の島独自の文化を体験する活動
場所 鹿児島県大島郡与論町
説明会 2月15日（日）（札幌会場 ちえりあ）
対象者 小学生350人（小学2年生～6年生）
日程 3月27日～4月2日（6泊7日）
参加費 153,000円（出発：帰着地 女満別空港）
詳細 国際青少年研修協会
☎03-3359-8421